



いよいよ冬の到来となりました。朝夕の寒さが一段と厳しくなりました。でも、こどもたちの園生活は、あい変わらず元気いっぱい、歓声がこだましています。生活発表会まであと一ヶ月あまり。年長児たちのドッジボール大会も終わって園生活は発表会に向けてギアをエンジしました。そんなようすを、ほみこさんたち、テラテラ見ながら、3学期の発表会に備えていきます。

■冬場の乾燥期に入って、コトが暴れはじめました。机・椅子・床・壁・玩具・マット・バス車内等は3月から毎日消毒を続けております。

【学期途中で購入したオムツ乾燥器12台も連日フル回転しております。

こどもたちの手洗いと消毒を変わらず徹底しております。

同居の家族に風邪の症状のある時は出席停止となり、症状が消失する迄自宅待機してください。

発熱・倦怠感・咳・のどの痛み・味覚と嗅覚の異常・筋肉関節の痛み・吐き気などの症状です。

免疫力を高める為に、睡眠を十分に、適度な運動、バランスの良い食事を心がけます。

■窓を避けて、今月のかきくさぶと中止といたしました。

■根雪の季節となって来ました。

幼稚園の道路は決して交通量の多い道路ではありませんが、幹線道路が混んでくると迂回する車が多く、走るようになります。

冬季間、幼稚園の前は除雪と

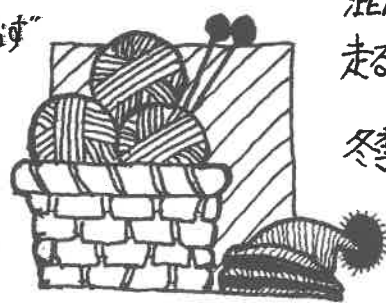
排雪に努めます。

そして、園庭と向かいの

スルスク広場はこどもたちの遊びの場として活用します。

ご来園の際の駐車について、ごめいやくを

おかけすると思いますが、よろしくご理解とご協力をお願い致します。



## 心の声が聞こえますか！

(心の育ちシリーズ)

人は子供が誕生する時“無事に生まれてまい”とただそれだけを祈ります。そして、無事に生まれた我が子を抱くと“ああよかった”という思いで心は満たされ、その後は「這えば立て、立てば歩めの親心」といように子供の成長を楽しみにしていかでしよう。

しかし、子供に自我が芽生えるころから、親の気持ちにも変化が生じてきます。言うことをきかないので感情的に怒ってしまう、寝がらまくいけずに泣く、動作の遅い子供をせかしてしまう等……。

時には厳しい躾も必要になるでしょうが、そうした時こそ親は自分の心を良く見つめなければなりません。

子供は親の心を敏感に感じとっているのです。親は子供の視線に立ち、子供は何を求めているのかを思いめぐらせる心の余裕を持ちたいのです。そうすれば、きっと子供の「心の声」が聞こえてくるでしょう。

—心を育てるニューメール—より

子育てを終えた私たち夫婦には耳の痛い話です。

しかし、幼児教育に携わっている者としては、素直に受け入れなければなりません。